

科目名	社会学	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群	
			全学科	□必修 ■選択
英文表記	Sociology	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
ふりがな	いのうえ ひろし	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	井上 寛	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	身近な生活の場面から社会学を学ぼう			
到達目標	1. 社会学のキーワードを理解し、自分の言葉で説明できるようになる。 2. 社会学の視点から、社会現象をみることができるようになる。 3. 各自の専攻する学問領域に対し社会学の視点を応用することができる。			
授業概要	友人や家族との関係、結婚や就職、差別やいじめ問題など、社会学の研究領域は、私たちの「身近な生活の場面」が舞台です。社会学Ⅱの授業で学んだ視点を、みなさんが専攻している、経済学や法律学など様々な学問に応用する力を身につけましょう。			
授業計画				
第1回	社会学って何だろう！？			
第2回	ミクロからみた社会—規範と価値			
第3回	プロセスからみた社会—標準と逸脱			
第4回	マクロからみた社会1—ジェンダー・セクシュアリティ			
第5回	マクロからみた社会2—偏見と差別			
第6回	身近な生活の場面での社会学1—予言の自己成就			
第7回	身近な生活の場面での社会学2—セクシャルハラスメント・社会階層			
第8回	競争と対立の場面—合法性と正当性			
第9回	ストリート場面での社会学—顕示的消費			
第10回	社会学の研究方法—概念・変数			
第11回	社会学を活用するために—マーケティング・世論調査			
第12回	社会学から理解する家族—ALWAYS三丁目の夕日から			
第13回	社会学の名著から—常識をうまく手放す			
第14回	社会学の応用—社会学から見た新型コロナウイルスのパンデミック			
第15回	まとめ			
第16回	定期試験			

授業時間外の学習	<p><予習> 授業終了時に次回のキーワードを紹介しますので、参考文献やWEBサイトなどを活用し予習をしてください。(90分程度)</p> <p><復習> ノートを確認し、参考文献やWEBサイトなどを活用し復習をしてください。(90分程度)</p> <p><その他> ニュースや社会での出来事に関心を持ち、社会(科)学的な視点から考えるトレーニングを日頃から心がけてください。(30分程度)</p>
履修条件 受講のルール	1年次から受講できる総合科目群の科目ですので履修条件は設けません。 なお、毎時間参考資料を印刷したA4サイズのノートを配布しますので、バインダーを用意してください。
テキスト	授業時に適宜資料を配布します。(特定のテキストは使用しません)
参考文献・資料	浅野智彦編著『考える力が身につく社会学入門』中経出版 2010年 (1,429円+税) 山本泰・佐藤健二・佐藤俊樹編著『社会学ワンダーランド』新世社 2013年 (2,600円+税)
成績評価の方法	<p>①定期試験(70%)…知識を問う問題と論述問題を課します。</p> <p>②小レポート(15%)…毎時間出席カードの裏面に書いてもらいます。なお、課題に対して満足に解答する姿勢が見られない場合は、加点しない場合があります。</p> <p>③取り組み姿勢(15%)…遅刻、マナー違反(私語・携帯操作・途中無断退席など)をする学生は、加点しないほか、悪質な場合は欠席扱いとします。</p> <p>※出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、期末試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	毎週月曜日 1時限(9:00~10:30) 毎週金曜日 3時限(13:00~14:30)
成績評価基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	小学生のころに習った算数の文章題の正解はひとつでした。しかし、社会で起こるさまざまな問題は、解決するための正解はいくつもの可能性があります。だから私たちの暮らす社会は面白いし、その一方で難しいのです。この授業を受けると、なぜ「就活」や「婚活」といった言葉が生まれたのか、なぜ新型コロナウイルスが流行すると「差別」や「偏見」が生まれるのかといったことを、社会全体から眺める力をつけることができます。